

流行ものから  
見えるもの

## 「結婚するなら3Kオトコ！」

— 優しい独身女性が急増中!? —

「結婚したい理想の男性とは？」

かつてのバブル期ならば、ダントツの答えが「高収入・高学歴・高身長」の「三高男児」だったことは記憶に新しい。しかし、時代の変遷とともに独身女性の意識も大きく様変わりしたようだ。

10年2月にアクサ生命保険が調べた結果で、最も多かった回答は価値観が合うこと(約62%)、次いで金

銭感覚の一致(27%)、雇用形態の安定(26%)。この「価値観・金銭感覚・雇用形態」をローマ字で記せばすべてKで始まり、まさに「三高」から「3K」にシフトしたということ。同調査でも、高収入は九位(約12%)、高学歴は十九位(2%)、高身長は二十位(2%)と、いずれも大きく後退していた。

これらの「チェンジ」を

生んだ最大の要因が、三高崇拜への反省であることは言うまでもない。つまり、夢や理想よりも現実志向が鮮明になった、ということだ。

一つには、今の独身女性は三高に固執した一世代上の女性たちの結婚が、決して幸福とは言えなかった実態を見て育ったため。

二つには、「外見」や「ブランド性」よりも日常の家庭生活を送るために好条件の男性を求め出したこと。

そして三つには、彼女たちは家庭を守るためなら、夫の代わりに働いてもいいと考えていること。

その証拠に「結婚相手に求める理想の年収」もバブル期には六百万円を超えていたが、今回の調査では約五百五十二万円とややデフレ傾向(?)に。心優しい

独身女性が急増し、独身男性にとつての結婚の関門はちよつぱり広まった、と言えるかもしれない？

もつとも、こうしたデータには裏読みが必要なのもある。先の男性の年収も「愛する人に求める年収」を聞くと二百七十一万円にダウン。同調査では、差額の約二百八十万円が「愛の価格」と分析していた。

また、男性に求める年収が低くなり共働き志向が増えたのは「もし離婚しても、仕事を持っていけば女一人で生きていける」という計算が少しはあるかも。時代が変わっても、女性の強さ、賢さ、したたかさは不変ということかもしれない？

NML野村オフィス  
代表 野村 正樹

## 貸金業法が大きく変わります！

### — 改正貸金業法の概要 —

貸金業法とは、消費者金融などの貸金業者や、貸金業者からの借入れについて定めている法律のことです。

### この貸金業法が、大きく変わります。

利用者の皆さんが安心して借りられるように、次の点が変わることとなりました。

#### 1 総量規制 借り過ぎ・貸し過ぎの防止

- ・年収の3分の1を超える額の新規の借入れができなくなります。
- ・借入れの際に収入を証明する書類が基本的に必要になります。

#### 2 上限金利の引下げ

- ・法律上の上限金利が29.2%から、借入金額に応じて15%~20%に引下げられます。

#### 3 貸金業者に対する規制も厳しく

- ・法令遵守の助言・指導を行う国家資格のある人を営業所に置くことが必要になります。

### — 重要なポイント —

- ◎借入れは年収の3分の1まで
- ◎借入れには年収の証明が必要
- ◎ヤミ金融からは絶対に借りないで！  
(無登録の業者など)
- ◎困ったら、あせらないで、まず相談

### — 問い合わせ先 —

消費者ホットライン

ゼロ・ゴー・ナナ・ゼロ 守ろうよ みんなを

0570-064-370

※身近な消費生活相談窓口をご案内します。